

SYNC

会津産IT技術認定



Nomasse (のまっせ)

IoTドリンクサーバーで日本酒を世界に！

初版 2019年9月30日 / 改定 2020年8月18日

株式会社シンク

sync globally, act locally.

わたしたちは、日本酒が好きです。
ふくしまの地酒が大好きなんです。
ふくしまの大地で太陽、水、風を浴びて育った米と、
人びととが生み出す日本酒。
まさに、ふくしまのすべてが凝縮されているといっ
てもいいでしょう。
だから「日本酒県ふくしま」から、あたらしい日本酒
の体験をはじめようと決めました。





デモンストレーション

『Nomasse (のまっせ)』は、ドリンクディスペンサーをインターネットに接続することで、提供した『お酒』をデータ化するサービスです。

(『Nomasse (のまっせ)』は会津地方で親しみを込めて「飲んで」と勧める際に使う方言から名付けました)



<サービス概要>

1. ICタグ認証により、設定した量のお酒を自動で提供します
2. ICタグは、飲み放題の時間や使える端末・回数を設定できます
3. 提供したお酒の量や時間を、データ化します



Nomasseで実現するあたらしい日本酒のスタイル

日本酒を楽しむお客さま

気になる日本酒を
カジュアルに楽しめる

飲んだ日本酒や場면을記録・共有する
「御酒飲帳」

どのお店で
どんな日本酒が飲めるかわかる

もう一度飲みたい
日本酒をネットで注文

日本酒を提供する店舗・施設さま

接客の省力化・効率化

客層に応じた人気銘柄がわかる

接客やサービスの充実化

発注の自動化

日本酒の製造・販売・流通業者さま

客層に応じた人気銘柄がわかる

データに基づいた流行の創造

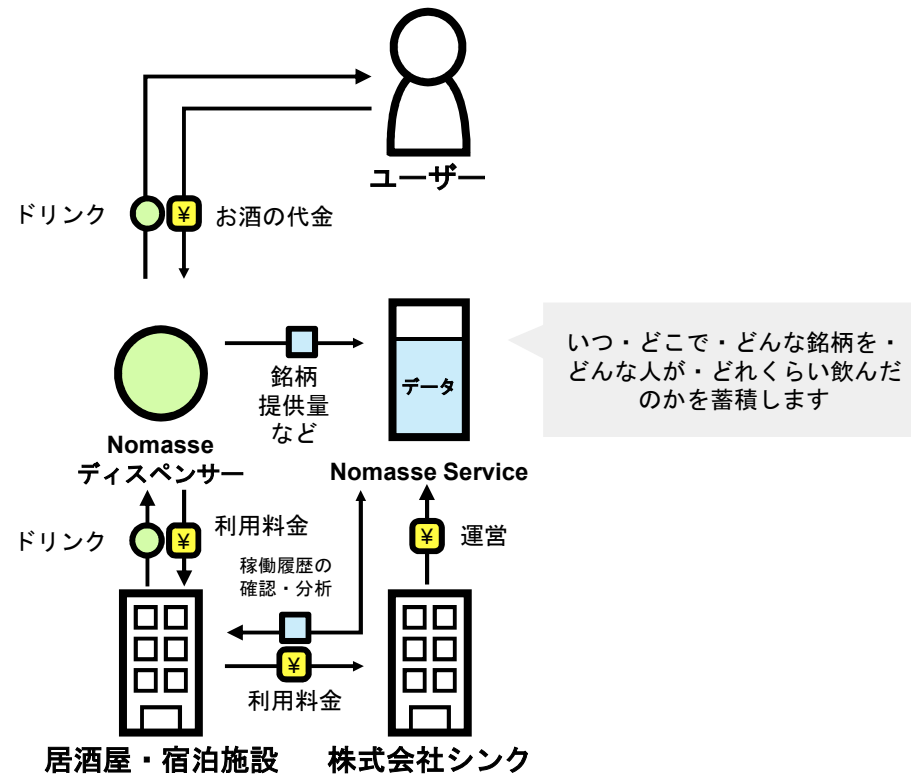
受注の自動化

ロスの削減と販路の拡大



Nomasseのサービス概要

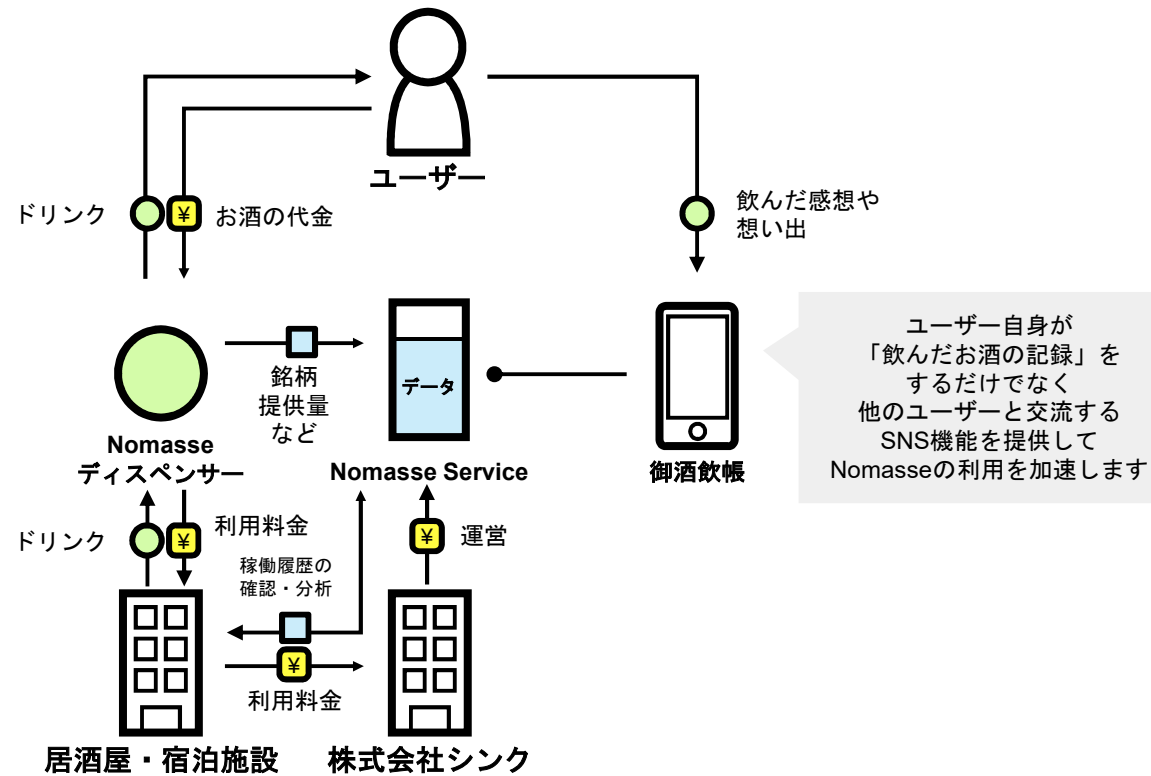
Phase 1





Nomasseのサービス概要

Phase 2

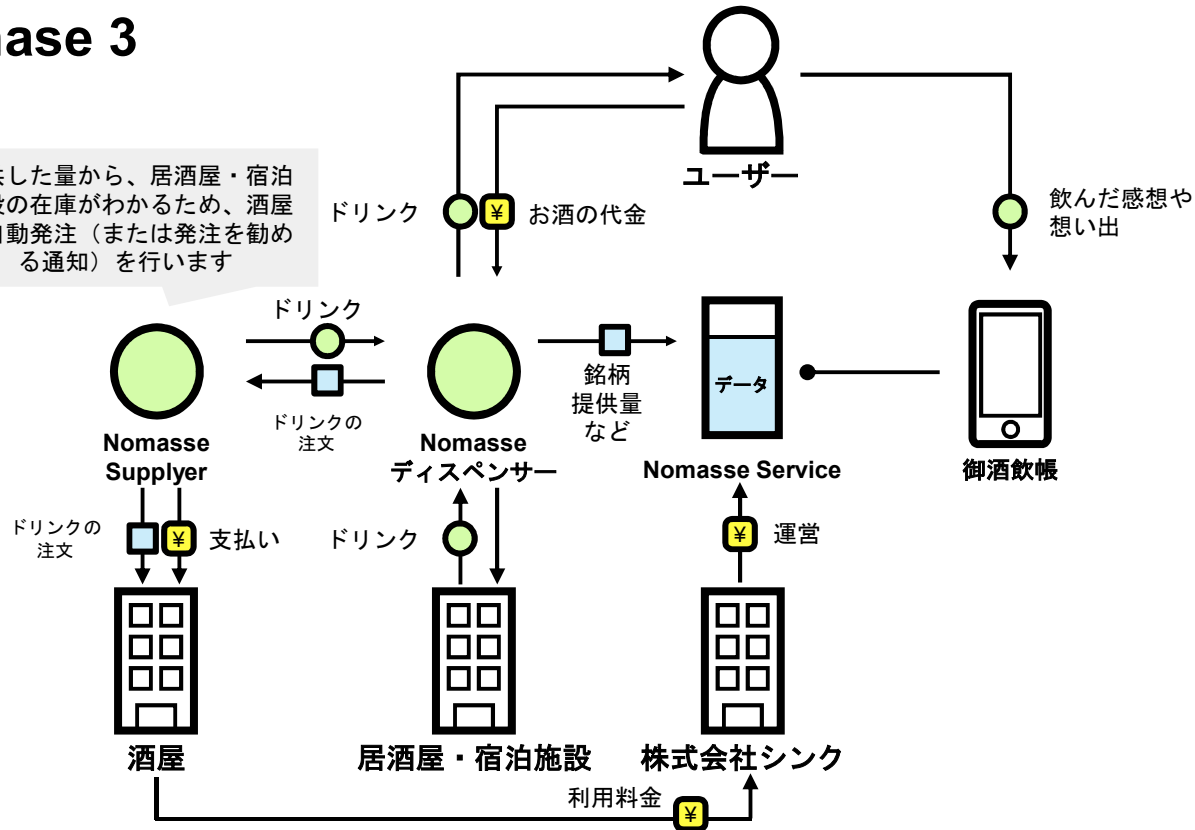




Nomasseのサービス概要

Phase 3

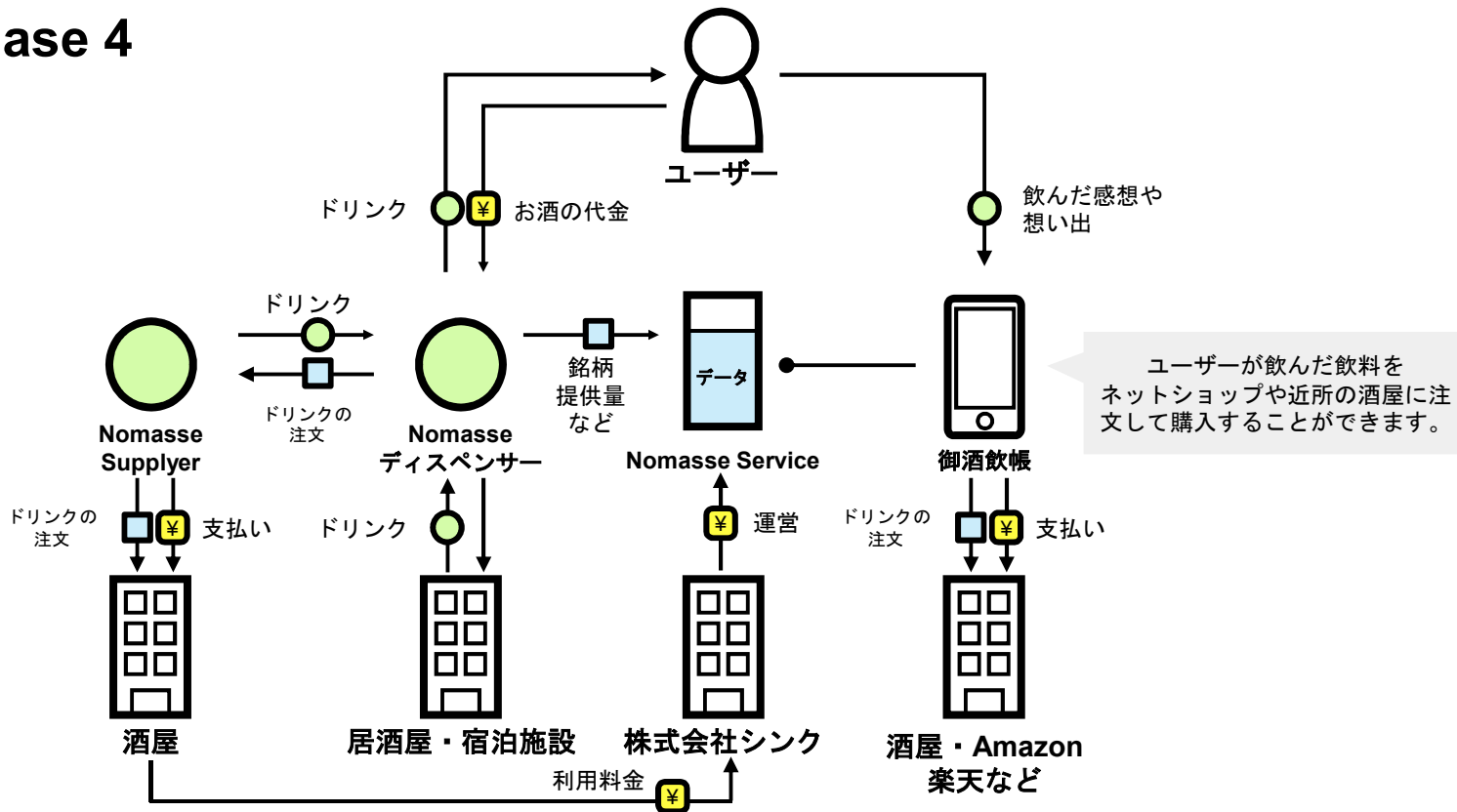
提供した量から、居酒屋・宿泊施設の在庫がわかるため、酒屋に自動発注（または発注を勧める通知）を行います





Nomasseのサービス概要

Phase 4





Nomasseの課金モデル

店舗や施設に導入検討を積極的に行ってもらうことを目的として、他IoTサービスでも採用されることが多い『月額基本料+利用料』による課金モデルを採用したいと考えています。
機器製造およびサービス開発と市場規模から、月額基本料金と利用料を算出しました。

月額基本料	利用料／杯	利用回数／月	月額合計
2,000円	10円	100回	3,000円

<月額基本料金 + Nomasse利用料（提供杯数毎）>

- 1年間で機器仕入コストが回収可能

<1台当たりのNomasse販売料金（案）>

- Nomasseの契約数を1とし、利用回数（提供杯数）が100回／月の場合（税抜）



外装によって広がる利用シーン

さまざまな外装を提供することで、多様な利用シーンに対応していきます。

- イベント
- 祝い事
- ラグジュアリー
- 空港
- 高級ホテル
- パーティ
- など

外装 ① 樽型



樽内にはポンプとバルブが入る
(大きさによっては瓶ごと)
※お酒はひやせない

- ・プラスチック樽にうるしぬり
- ・蓋できたら尚良し

② お銚子型

- ・おとどとか飲むときのタイガのお銚子
- ・中にポンプとバルブ
- ・手で持って注げる
- ・割りと素材が高い
- ・酒瓶が外に出ているのでパケツとかで冷やせる



③ 竹筒型

- ・平出雄製のフタと同じタイプ
(¥2,000-くらい)
- ・うるしぬりにすると加工費用up & 高級感cup



- ・置いたときの安定感はあるけど素材として衛生面には不安な点も感じる

④ 赤べこ型

- ・口から出てくる
- ・張子TJから水分に弱い

⑤ 徳利型

- ・徳利の底面に穴あけてチューブを通す
- ・手で持てる
- ・サイズ的にバルブ・ポンプは外部に?
- ・木の徳利で¥2000弱くらい



⑥ 加刃 (かとう、白虎刀)

- ・白虎刀を外装にする
- ・必然的に手持ち
- ・¥2000くらい
- ・加藤工芸専用
- ・嬉しいお返し!





日本酒を、日本酒県ふくしま「会津」から世界へ！

の
せま